

# みらいん

34号

2015年  
1月

ひよりや  
日和山

復興公営住宅入居者からの  
アドバイス



前略 お元気ですか／表紙のひと  
みらいん編集部取材ダイアリー  
沿岸部復興ニュース／これから住むまち  
読者からひとこと／交流サロン紹介  
クロスワードパズル／ふるさとにごつつおさん



震災の  
語り部  
タクシー

「みらいん」は、  
震災からの復興に向けて  
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の  
今を結ぶ情報紙です。

## ごあいさつ

仙台発 震災復興 地域かわら版「みらいん」は、復興に向かう仙台市東部沿岸地域の現在の様子、仮設住宅のコミュニティづくり、生活再建に資する情報などをお届けするため2011年12月に創刊されました。

震災から4年、仙台市内に住む被災された方々の状況は刻々と変化し、生活再建や、復興公営住宅の整備など、復興へと一歩一歩前に進んでおります。

そのような状況も踏まえまして、皆様に長きにわたりご愛読いただいた「みらいん」ですが、次号(35号)をもって終刊することとなりました。最後まで応援くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

「みらいん」編集部一同

### 仙台発 震災復興 地域かわら版 みらいん [34号]

2015年1月1日発行

発行  
仙台市

企画・編集

協同組合みやぎマルチメディア・マジック

岡崎裕子  
熱海奈穂子/網野武明/鉅鹿大輔/菊地明彦  
齋藤孝之/佐藤有希/芳賀幸子  
金子秀樹

印刷

ハリウ コミュニケーションズ株式会社

協力

河北新報社

特別協力 (五十音順、敬称略)

千田佐知子

お問い合わせ

〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 2-12  
協同組合みやぎマルチメディア・マジック  
「みらいん」編集部  
Tel.022-390-5755 Fax.022-390-5756  
kawara@mwww.or.jp



### 表紙のひと

桜井慶哉さん

「こころ日和山の辺りは子どもの頃の遊び場。生まれ育った北新田はもう仙台新港になっちゃったけど」と話す桜井慶哉さんは、語り部タクシーの乗務員として、被災沿岸地域のガイドをしています。復興関連のNPO法人や所属タクシー会社から「語り部乗務員としての第一人者になって欲しい」と働きかけがあり引き受けたのも、自身が震災で身内を亡くし、宮城野区南蒲生の自宅が被災したことからでした。元々タクシーの観光業務をしており、案内をする範囲が岩手から福島と広いため、休日は現場に出向いて勉強をするなど知識を深めています。

「映像だけじゃ分からない、足を運んで初めて分かることがあるんだよね」と話す桜井さんがお客さんに必ず伝えていることが、自身の安全を最優先に考えてとにかくばらばらに高台へ逃げる「津波てんでんこ」と、いつでも起こる自然災害に備えて過ごすことの重要性です。それを受けたお客さんの口から「自分たちも地元に戻ったら何とかしなくちゃ」という声が聞かれた時に、その役目を果たしていると実感するといいます。

ガイドの際、忘れ去られたような沢山の小さな漁港をあえて回り、訪れる方々に実情を見せようという桜井さんの原動力は「皆震災で誰かを亡くし、故郷を失くしているからこそ、後世に伝えなくては」という気持ちから来ています。

撮影場所/日和山(宮城野区)。語り部タクシー問い合わせは022-232-5801(仙台中央タクシー)まで

前略  
お元気  
ですか

中村征次郎さん

からのお便り



樋口君、いや「ヒグチ」「ナカムラ」と呼ぶ合う仲だから、樋口、いつも新鮮な野菜をありがとう。考えてみれば、俺たちも随分長い付き合いになったな。高校の同級生として悪友として、もう五十年以上が過ぎたんだから。宮城農業高校畜産科の同級生五人で、卒業後に集まりだしたのは、いつごろだったっけ。畜産科だから「ズーロジ」の頭文字「Z」をとって「Z会」としたのは良かった。どこの温泉旅館に行っても、玄関の歓迎看板では一番目立ったもの。

震災で家を失った俺に、仲間が気遣ってくれたけど、以前と変わらなくな接してくれたことがうれしかったよ。男同士の付き合いって、さっぱりして、特別の会話もないけれど、気持ちは伝わっているんだな。樋口は畑が、俺は海が一番の楽しみだ。お互いに第一線を退いたけど、相変わらず忙しくしているから不思議だな。今度の釣りはきつと大漁だから、でっかい鱈を届けるよ。

お便りを  
受け取った  
樋口純一さんより

よう中村、しょっちゅう会っているから、葉書なんかもらうと驚くよ。今度の「Z会」も楽しみだな。そう、皆七十歳を過ぎたけど、喜寿までは続けよう。ただ、酒を飲むだけの集まりだけど、俺たちはそれでいいんだ。鱈か、楽しみにしているよ。

### 皆で楽しくポストカードをつくってみませんか?

「みらいん」では、スタンプを押してポストカードをつくり、大切な人にあててメッセージを書く体験教室を開催します。教室でつくったポストカードの中から、次号のこのコーナーに掲載するハガキを選出します。はじめての方でも簡単にできます。ぜひご参加ください。参加無料。

- 参加にあたっては応募が必要です。下記をご覧ください。
- 対象者/東日本大震災で被災した、現在若林区にお住まいの方10名。応募多数の場合、抽選とさせていただきます。
- 開催日/1月24日(土)10:00~12:00
- 会場/七郷市民センター(若林区荒井堀添65-5)
- 応募方法/3ページの「みらいん」編集部お問い合わせ先に電話でご連絡ください。
- 応募締切/1月16日(金)

復興公営住宅にお住まいの皆さんの声、お伝えします。

# 入居前後のひとことアドバイス

すでに復興公営住宅に入居している皆さんから、これから復興公営住宅に入居される皆さんへ、引っ越しから暮らし方まで、さまざまなアドバイスをいただきました。

※このコメントは、特定の復興公営住宅に入居した個人の感想によるものです。これらの内容が、すべての復興公営住宅に当てはまらない場合もありますのでご了承ください

## 室内の安全も工夫して

一人暮らしなので二部屋だけなのですが、私は足が悪いから、移動する範囲には障害物を置かないようにしたり、ふすまは開けたままにするとか、部屋の中でもなるべくスムーズな移動ができるように工夫しています。一人住まいにとって、自分の動線を安全に保つことが生活する上で大事なのだと思いますね。

鈴木とみえさん世帯  
荒井東復興公営住宅

## 不用品は賢くリサイクル

引っ越しの際、リサイクル業者に不用品を買い取ってもらったんです。直接、元の住まいに来てもらい、家具や引き出物などももちろん、「売れないかな」と思っていたケーブル類なども買い取ってもらえました。複数の業者さんに見積もりをもらって比較してみてください。また、引っ越し先の家具の配置にも注意。コンセントやアンテナ端子の位置は間取り図に載っていないので、鍵を受け取って位置を確認してから配置を考えた方がいいですよ。

きっかわ  
橋川政志さん世帯  
上原復興公営住宅  
左から本人、洋子さん、かつひろ一洋さん



## 誰かが顔を出そう

支援者の皆さんが開いてくれた顔合わせ会に、私は仕事で参加できなかったのですが、子どもたちだけ参加させました。おかげで同じ入居者の方や地域の方が子どもの顔を覚えてくれて、一人である時に声をかけてくれたり、雨の日に家の鍵を忘れてしまった子どもを預かってくださったりするようになりました。自分が参加できなくても、家族の誰かが顔合わせ会へ参加すると今後の関係性を築きやすと思います。

阿部 宏さん世帯  
田子西復興公営住宅  
左はきみ子さん



## トイレを温水洗浄便座に

隣接する建物の影響かBSチャンネルが見られず、光回線を敷いています。また、トイレは申請後許可を得て自分たちで温水洗浄便座に換えました。住民間の相互健康管理の上でも、人を覚える為に棟ごとのサロンを開くと良いですね。又、色々な交流会に出掛けていますが、夫婦揃っている方は出来れば2人で参加すると良いでしょう。その方が共通の話題が出来て、夫婦間の会話が盛り上がりやすくなります。

まさひろ  
鈴木政廣さん世帯  
北六番丁復興公営住宅  
左は俊子さん



## 滑り防止策と積極性

集合住宅なので音漏れに気をつけています。両隣の部屋の方とは、すれ違う時に「音が響いたらごめんなさいね」と声を掛け合っています。引き戸の滑りが良すぎて閉める時に大きな音がするので、クッション材を小さく切って貼りました。皆さんと仲良く暮らしていくためにも、なるべく催しなどに顔を出して早く顔を覚えるようにしたり、勇気を出して福祉委員を引き受けたり。夫は、好きなゲートボールで地域に溶け込むようにしています。

## 収納は要工夫!

唯一ある1間ほどの収納は中が3段に分かれています。一番上は天袋のようなサイズで、下2段はよくある押し入れといった感じです。2段目には服がかけられるようにパイプがついているのですが、丈の長いものはかけられないのでハンガーラックを買いました。布団の整理は圧縮袋を利用しています。あとと便利かなと思うのは踏み台です。台所の収納やお風呂場の窓が結構高い位置にあって、身長175cmの私でも少し大変だと感じますね。

てるお  
片山昭夫さん世帯  
鹿野復興公営住宅



## ペットも大事な家族です

うちの家族は、母と娘二人、そして2頭の愛犬です。目の前に広瀬川堤防がありますから、格好のお散歩コースになっています。家の中で飼っているの、玄関の内側には柵を設けて、外へ飛び出さないように注意しています。また、フローリングが傷つかないように、カーペットは必需品ですし、畳の部屋には入れないようにしています。

大場留理子さん世帯  
若林西復興公営住宅  
左から本人、愛犬のモモ、スエさん、愛犬のクー



細川英子さん  
荒井東復興公営住宅

こちらの住宅へ入居して一番頭を使ったのは、収納の工夫です。部屋の中に置く収納ボックスなどを最小限にすること。そして、台所の流し台の上の方に突っ張り棒をして、軽いものを乗せるようにしています。

伊藤広美さん  
芦の口復興公営住宅

玄関のドアと音防止のパッキンがくっついて、ドアが開けづらくなりました。ご近所の方と雑談中にそのことを話したらパッキンにテープを貼るといいと教わり改善できました。行政に相談するのもいいですが、ご近所の方とのコミュニケーションで解決できることもありますよ。

松木恭子さん  
かんばら  
上原復興公営住宅

住宅の方とは、あいさつの他に一言でも「寒いですね」など声を掛け合うようにしています。特に高齢の方などは(体調などの)様子の変化がわかりますからね。皆で住む集合住宅なので、火の元には特に気を遣っています。少しの外出でもガスの元栓、電気プラグの抜き取りは徹底しています。

中島友美さん世帯  
芦の口復興公営住宅  
左から本人、稜さん、ひなみ、和果南さん、星南さん



しろう  
高野資朗さん  
若林西復興公営住宅

家族は妻と愛犬一頭です。集合住宅でペットと共に暮らすには、飼い主のしつけが重要だと思います。部屋の中はもちろんですが、廊下などの共用部分を汚さないように気をつけて、ペットを飼っていない方々の迷惑にならないようにしています。

遠藤節子さん  
田子西復興公営住宅

お風呂場に、備え付け以外に手すりを設置する必要性がありました。入居説明会で配布された資料「暮らしの手帳」で手続き方法を確認し、工作物等設置申込書で申請のうえ許可を得ました。すでに復興公営住宅に入居のお知り合いがいたら、参考としてお部屋を見せてもらうのもお勧めです。

しょうこう  
平賀正孝さん  
鹿野復興公営住宅

引越しの時、エレベーターや階段が混み合わないよう、仙台市が決めた引越し業者が代表として取りまとめをしています。他の業者を利用する場合も、代表の業者へ連絡が必要です。私は他の業者を利用したので電話連絡をして、代表の業者と自分たちが利用する業者との間に入り、日取りを決めました。

末永栄子さん  
北六番丁復興公営住宅

高齢者が多い住宅ですと、認知症などは恥ずかしがらずに皆に理解してもらおうことが重要だと思います。声掛けし合って支え合えば良いですね。また、近所の年度単位の地域学習講座に申し込んだことで、地域住民の方と仲良くなり、おかげでお世話になっています。



復興公営住宅のコミュニティ形成事例、教えます。  
**田子西復興公営住宅の場合**

さまざまな地域から入居者が集まってきた新しい復興公営住宅で、どのように「コミュニティ」が形成されていくのかについて、田子西復興公営住宅を例にしてお伝えします。

**復興公営住宅でさまざまな交流活動が始まっています！**

**荒井東復興公営住宅（若林区）**



11月14日（金）、集会所には約20名の皆さんが集まりました。新しい環境で閉じこもりがちな高齢者の健康維持とコミュニケーションの機会として、仙台市健康増進センターの呼びかけに自治会が応じ、関係団体の協力のもと開催されました。

健康体操で、皆一緒に楽しく基礎体力をつけましょう

**若林西復興公営住宅（若林区）**



10月に組織された町内会「若林西せせらぎ会」の役員が、住民交流の機会を作ると、仙台市健康マージャン推進実行委員会のメンバーに協力を求めて、11月19日（水）に健康麻雀の会が開催されました。集会所では、経験十分の男性も初心者の女性も同様に楽しみました。

健康マージャンは、優れたコミュニケーション・ツールです

**北六番丁復興公営住宅（青葉区）**



市営住宅のうち12戸が復興公営住宅として供給されている当地で世話役が企画実施する交流会は、新旧住民の懇談の場です。拍子木による呼び掛けや、住民が読み演じる紙芝居、世話役自ら奏でるハーモニカに合わせた合唱など、手作りの工夫が活きています。

奇数月の第三月曜日は北六いきいきサロンの日

**上原復興公営住宅（青葉区）**



広瀬地区社会福祉協議会や隣接する上原市営住宅自治会をはじめ、地域団体が入居者を招き初めての交流会を開きました。交流の足掛かりにまずは当地を知ってもらおうと、地区社協会長による地域のよもやま話や地域に伝わる昔話の紙芝居が披露されました。

地域全体でウェルカム交流の幕開けは広瀬地区の紹介から

**芦の口復興公営住宅（太白区）**



11月9日（日）に、草取りと芋煮会が開催されました。主催は芦の口羽黒台町内会や西多賀地区社会福祉協議会などで構成される芦の口復興公営住宅支援者連絡会です。まだ入居者が少ないため、外部関係者の支援の下、環境整備と交流が行われています。

二回目となる草取りを行い、芋煮会で交流を深めました

**鹿野復興公営住宅（太白区）**



10月12日（日）、鹿野地区連合町内会や鹿野地区社会福祉協議会などで構成される鹿野復興公営住宅支援者連絡会が、入居者が顔を合わせる機会づくりのため交流会を開催。まだ町内会組織や集会所がないため、隣接する福祉施設を会場に実施しました。

周辺地域住民の支援によりはじめての交流会が開催されました



**「田子西復興公営住宅支援者の会」発足**

入居者の皆さんをサポートするために、地域の福祉関係団体や町内会など外部の14団体が集まり発足。入居者と「支援者の会」が共に交流を深めながら活動することで、孤立化防止や地区のまちづくりに繋がられる可能性が高まります。



**入居者同士の交流が盛んに**

皆さんが心待ちにしていた、集会所の利用が可能に。「田子西復興公営住宅集会所お披露目会（スイカまつり）」を皮切りに、集会所を活用した、「支援者の会」主催の交流が徐々に増加。住民同士が顔を合わせられる場が重要です。

**自主サークルスタート**

準備会会期中に宮城野区役所経由で音楽による交流支援を申し出る声が届き、町内会の活動として「うたカフェ」がスタート。隣接する住宅街の方にも回覧板でご案内しています。



**入居開始**

全4棟を2棟ずつに分けて引っ越し、鍵の受け取りと入居許可証が発行されました。入居開始日には、田子小学校入学を翌日に控え、慌ただしく引っ越し世帯の姿も見受けられました。



**「田子西復興公営住宅自治会設立準備会」発足**

住民有志と行政の意見交換会を経て、8月20日に第1回準備会を実施。以降、毎週会議を重ねました。3回目に住民だけで討議したことが、より皆の当事者意識と責任感を強化。「設立総会出欠連絡票兼委任状」には、各世帯の生年月日記入欄を設け、有事に備える準備も整え始めました。



**田子西町内会発足**

総会1週間前、準備委員と住民有志が協力し合い総会資料を手渡しで各世帯に配布。総会では入居167世帯のうち、出席60と委任状81の計141世帯の承認を得ました。



**まわりの力を素直に借りつつ  
住民が当事者意識をもって参加**

住民となる皆さんが、四月から六月にかけて入居、引っ越しの片づけや諸手続きに追われているさ中、水面下ではサポートする側の動きが固まっていきました。「皆さんが主体的に動けるようになるまでサポートしていきましょう」と、「支援者の会」が設立。「支援者の会」主催の交流イベントを通して、住民同士が顔を合わせる機会が増した頃、行政のサポートを受けて、八月に「自治会設立準備会」が発足しました。毎回約二十名の有志が参加し、当初は互いに遠慮がありました。外部を入れず住民だけで話し合ったことが転機となり、九月の準備会時には当事者意識と責任感をもって具体的な準備を整えていきました。十月からは、さつそく住民の皆さんの協力のもと各棟各階に班長を決めて、町内会が動き出し、専門部への参加を申し出る声も上がり始めている。

宮城野区



災害時にも利用できます  
新浜に民間倉庫が完成

岡田地区の新浜地域に災害時にも利用できる民間の「岡田倉庫」が完成。「地域の皆さんへ恩返しの気持ちです。有事にはどなたでもご利用ください」と、施主の佐藤辰男さん。建物は鉄骨製で高さ11m。避難場所の2階までをスロープ状にし、車での避難に配慮。2014年内完成予定の3階部を含めると、約300人、乗用車約20台が収容でき、台所、浴室、トイレを完備。一時的に避難できる場所として仙台市と協定を結ぶか検討中です。

若林区・宮城野区



津波避難タワー(仙台市施工)  
の建設が始まりました

仙台市では、宮城野区と若林区の沿岸部に、避難タワー、避難ビル(消防団施設併設)、避難階段等13カ所の津波避難施設整備を行います。現在、宮城野区中野地区(仙台港背後地3号公園予定地)に1基目の避難タワーを建設中です。寒さ対策のための居室型構造や、車椅子やベビーカー利用者等に配慮したスロープ、停電時対応のソーラー照明など仙台市独自の仕様となっており、沿岸部に住む市民の安全を確保するものです。

サンマのつみれ汁で故郷を思う  
(泉区・泉区中央市民センター)



11/20(木)

泉区に避難されている方と地域住民が参加する泉中央交流カフェ。今回は「浜の料理を楽しもう」と、沿岸部出身のベテランのお母さんたちが各グループのリーダーとなってサンマのつみれ汁を調理しました。定員を大きく上回る30名超が集まり、調理室は熱気に包まれました。

行ったり来たりの大忙し!  
(太白区・あすと長町仮設住宅)



11月24日(月・休)

あすと長町仮設住宅自治会、長町病院などによる秋まつりが催されました。集会所ではミニコンサートを開催。外ではつきたての餅と山形風の芋煮が振る舞われ、用意された各200食を完食しました。参加した方たちは、中と外を行ったり来たりしてイベントを楽しんでいました。

交流会で心と体の健康増進  
(青葉区・青葉区役所)



11/26(水)

青葉区家庭健康課が主催する「みやぎ・いわて沿岸部交流会」。仙台市内に避難している方、転入された方を対象に今年度は4回開催されています。会の始めの歓談では、久しぶりに会った参加者同士が出身地ごとに集まって、近況報告などでひと盛り上がり。その後、「インフルエンザ予防」の講話、ストレッチに体操、合唱と盛りだくさんのプログラムが行われました。

冬の野菜を植えよう!  
(若林区・卸町5丁目公園仮設住宅)



11/6(木)

早朝から集まったのは、仮設住宅の畑クラブの面々です。敷地内に設置した畑に土を加えて肥料を足し、新しく植えたのは、ほうれん草、玉ねぎ、えんどう豆の苗です。畑クラブのメンバーは、小さな畑でも心を込めて育てれば、きっとおいしく育つだろうと、汗を拭きました。

おめでとう、開校140周年!  
(若林区・荒浜小学校)



11/15(土)

秋晴れのこの日、荒浜小学校の140周年を祝う式典には、在校生23名と保護者、教師、地域の関係者など多数が集まりました。明治大正昭和そして平成と、重ねてきたその歴史を振り返るスライドを上映。その後被災した荒浜小学校校舎に移動して、全員で風船を飛ばしました。

力作が勢ぞろいしました  
(太白区・太白区役所)



10/23(木)

太白区内の仮設住宅にお住まいの皆さんの手づくり作品を集めた展示会が開催されました。書道や絵画、人形や手芸品などの力作が並び、観に来たお客さんからは「どうやってつくっているのかしら?先生になってほしいわ」などの感想が聞かれました。

葉ボタン・パンジー・ビオラで交流  
(宮城野区・鶴巻1丁目東公園仮設住宅)



10/31(金)

鶴巻1丁目東公園仮設住宅の住民20名と鶴巻小学校6年生の児童約70名が、プランターの植え替え作業を一緒に行いました。「来年秋までには住民の多くが仮設住宅を退去するであろうから、限りある時間ですが、近隣同士協力し合って地域を明るくしていきましょう」と、自治会の皆さん。

ふるさと蒲生をきれいにしよう!  
(宮城野区・和田&西原地区)



11/1(土)

小雨が降る中、「ふるさとをきれいにしよう」と約100名が集い、宮城野区中野4町内地域のごみ拾いを行いました。今回は4町内の和田と西原地区を重点的に清掃。活動後は各町内の女性有志がつくった芋煮で温まりながら、互いの近況や懐かしい話に花を咲かせました。

笑顔溢れる復興秋まつり  
(宮城野区・新浜町内会仮設集会所)



10月13日(月・祝)

宮城野区岡田の新浜町内会で津波避難訓練と海岸堤防視察に続き、「復興秋まつり」が開催されました。「新浜女子会」による絶妙な味付けの芋煮の他に、同地で事業を営む企業からは特製インドカレーが提供されるなど、新浜に縁をもつ多様な方々が交流する笑顔溢れる1日でした。

お買い上げ  
ありがとうございます!  
(太白区・宮城大学太白キャンパス)



10/18(土)

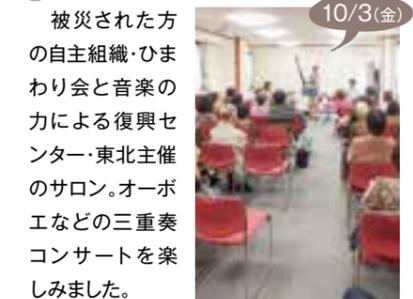
快晴のもと開催された大学祭で、被災された方と学生ボランティアサークルの皆さんが手づくりのお菓子和菓子とキャンドル、手芸品などを販売しました。被災された方たちも、学生さんたちに混ざって元気に接客。商品が売れると皆で万歳をして喜びを表現していました。

みらい編集部  
取材ダイアリー

10月~11月

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

芸術の秋、音楽の力  
(青葉区・西本願寺仙台別院教化センター)



10/3(金)

被災された方の自主組織・ひまわり会と音楽の力による復興センター・東北主催のサロン。オーボエなどの三重奏コンサートを楽しみました。

味覚の秋といえばサンマ!  
(若林区・日辺グラウンド仮設住宅)



10/12(日)

毎年恒例「サンマ祭り」。約300匹のサンマとホタテを前に、焼き手のお父さんたちは「なんだべ、煙いごだあ!脂のつてからだべ」と大奮闘でした。

牛乳パックで椅子づくり  
(泉区・上谷刈センター)



10/22(水)

泉区で被災した佐々木あい子さんが講師となって、3週にわたって行われた作業の最終回。集まった近隣の参加者は「人と顔を合わせてつくるのが楽しいね、この椅子は背もたれが無いのがいいよね」と手を動かしながらそれぞれの作品を完成させました。

## 荒井エリア (若林区)

防災集団移転促進事業宅地、  
復興公営住宅建設地(戸建)  
を含む

▼かぶり物は行事の必須アイテム(蒲町児童館)



## これから 住むまち

荒井エリアでは、既に荒井東(第一期)復興公営住宅への入居がさ  
れていきます。  
「積極的に地域へ関わろうとする  
方やサークルがとても多いので、  
七郷市民センターはいつも賑やか  
です」とうれしそうに話すのは、  
館長の玉淵安夫さん。  
「コミュニケーションを図ってい  
く上で、話がよく見えることは大  
切です。これから住む地域でも町  
内会の設立や入会を希望します。  
そして、より良い七郷のまちづく  
りにご参加ください」と七郷地区  
連合町内会長の菊地榮司さんは語  
ります。  
まちは変化しますが、七郷の気  
風は変わらず保たれています。  
荒井東第二期復興公営住宅の工  
事の進捗は十一月末現在で躯体工  
事中。荒井第二復興公営住宅は二  
〇一五年一月完成予定。荒井東の  
戸建住宅は二〇一五年十二月完成  
予定。荒井西、荒井南の戸建と荒  
井南第二復興公営住宅は設計中、  
荒井南復興公営住宅は設計完了、  
荒井西と荒井南の防災集団移転宅  
地は造成工事中となっています。



①フラ スタジオ フアリ

### 地域の町内会 & 交流グループなど

- ①フラスタジオ フアリ フラダンスとタヒチアンダンスを楽しく学べる教室です。写真は七郷市民まつりでのひとコマ。一般クラスは第2・4火曜日11:00~12:30。親子クラスは第1・3金曜日16:30~18:00 七郷市民センター和室 問/070-5098-7925(樫村)
- ②ハッピースマイルカフェ 乳幼児親子向けの交流活動です。お茶を飲みながら子育てについてお話ししたり、月1回はスペシャルデーで手遊びや読み聞かせを楽しみます。毎週水曜日11:00~11:30 問/022-294-6353(蒲町児童館)
- ③ソレイユ・ヨガ 女性向けヨガ教室です。ベビーヨガ、子連れヨガは月1回、リラックス&肩甲骨ヨガは月3回開催。初回体験500円。毎週金曜日10:15~11:30 蒲町コミュニティ・センター 問/mknh.dwbh.19990410@gmail.com(kyoko)
- ④白百合会 介護予防運動の自主サークルです。さわやか健康づくりをテーマに体を動かし、同時に地域交流の場となっています。月2回開催13:30~15:00 七郷六丁目コミュニティ・センター 問/022-288-7555(関)
- ⑤ハーモニック・ラブ 七郷 複音ハーモニックで合奏をしています。市民センターコンサート、年3回の発表会や慰問などで演奏します。最年長は90歳! 第2・4木曜日10:00~12:00 七郷市民センター3F視聴覚室 問/022-289-5019(中村)



▲音程の違うハーモニックを複数用意していました



②ハッピースマイルカフェ



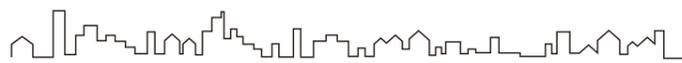
③ソレイユ・ヨガ



④白百合会



⑤ハーモニック・ラブ 七郷



これから整備される復興公営住宅、  
防災集団移転促進事業の宅地ができる地域の様子と、  
地域で交流を楽しむ方々をご紹介します。



②サロン・あけぼの



③榴岡学区民体育振興会・卓球部



④榴岡市民センター



⑤榴岡地区町内会連合会

### 地域の町内会 & 交流グループなど

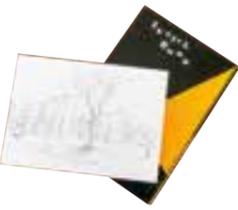
- ①榴岡さんぼみちS.C 市民センター講座をきっかけに始まった水彩画のサークルです。スケッチや水彩画の技法などを気軽に学べます。体験会も開催中。興味のある方は榴岡市民センターまで。
- ②サロン・あけぼの 誰でも気軽に参加できる健康体操などを行っています。参加者同士のコミュニケーションを大切にしながら、皆が笑顔で健康になるための活動を実践中。月1回、宮城野区の小田原二十二町内会集会所で開催しています。問/022-291-9357(野田)
- ③榴岡学区民体育振興会・卓球部 毎週火・金・土曜日の19時から21時まで、榴岡小学校の体育館で活動中。老若男女さまざまな方々が参加しています。
- ④榴岡市民センター 主催事業の一つ「榴岡地域案内人養成講座・榴岡さんぼみち」では、地域の魅力を発信する案内人を養成。その案内人たちが定期的に榴岡の界隈を紹介する「榴岡さんぼ」を開催しています。
- ⑤榴岡地区町内会連合会 榴岡エリアの26町内会、約7,000世帯が所属している町内会です。地域の住民が一体となって行われる防災訓練や運動会など、街の活性化のために精力的な活動を続けています。



①榴岡さんぼみちS.C

## 住民同士の輪を繋ぐ 天神様に笑顔が集う

宮城野エリアは、桜の名所としても有名な榴岡公園や、陸上競技場が整備されている宮城野原公園総合運動場など、緑あふれる住環境が魅力の街です。  
また近隣には、数多くの寺社仏閣が点在しています。中でも学問の神様として親しまれている榴岡天満宮では、一年を通してさまざまな祭事や催しが行われています。毎月二十五日開催「天神様でみんなの市」や、毎年七月二十五日に地元・榴岡小学校の児童たちがお神輿をかつぐ例大祭など、住民たちの交流の場として親しまれています。  
榴岡天満宮の宮司・菅野棟之さんは「もともと住民同士の繋がりが強い地域ですが、これから先も笑顔の絶えない街でい続けられるように、皆さんと一緒にがんばっていきたく」と話していました。  
宮城野復興公営住宅の工事の進捗は、十一月末現在で躯体工事中となっています。



▲榴岡さんぼみちS.Cは、絵を初めて描く人でも参加できるサークルです



▲榴岡学区民体育振興会・卓球部の活動は、初心者から経験者まで楽しめます

## 宮城野エリア (宮城野区)

# 梅田町エリア (青葉区)



◀地域交流を目的とした福沢市民センターの主催講座「みんなで作ろうアート」では、参加者全員でオブジェを製作しました



①幼児クラブ

## 地域の町内会 & 交流グループなど

- ①**幼児クラブ** 集団での遊びを通して友だちの輪を広げるための育児サークル。0歳～3歳児の親子が対象です。年齢別に「ハイハイ」(0歳～1歳)「トコトコ」(1歳～3歳)「ジャンプ」(2～3歳の登録制)の各クラスがあります。問/022-714-1021(北六番丁コミュニティ児童館)
- ②**生命の貯蓄体操** 毎週水曜日の10:00～12:00、福沢市民センターで「丹田呼吸法」を基本とした健康体操を行っています。体に負担の少ない誰でも気軽にできる運動で、参加者の健康を促進しています。問/022-256-0779(遠藤)
- ③**北六地区連合町内会** 梅田町を含む北六地区の7町内会、約2,600世帯が参加。毎年北六番丁小学校で開催する「北六コミュニティまつり」など、住民同士の繋がりを大切に街づくりに尽力しています。
- ④**北六学区民体育振興会** 家庭/バレーボール大会やグラウンドゴルフ大会のほか、北六番丁小学校と共催による「北六学区大運動会」なども開催しています。
- ⑤**福沢市民センター** 多彩な主催講座のほか、地域で活動する公的団体や自主サークルの拠点として親しまれています。年に一度開催の「福沢市民センターまつり」は、毎年多くの地域の方たちが訪れ交流しています。

梅田町復興公営住宅の工事の進捗は、十一月末現在で内装工事中となっています。

## 子どもたちの交流で 地域の絆を深めるエリア

◀北六番丁コミュニティ児童館主催の幼児クラブでは、工作やふれあいあそびを通じて親子のコミュニケーションを深めます



②生命の貯蓄体操



③北六地区連合町内会



④北六学区民体育振興会



⑤福沢市民センター

梅田町は、青葉区中心部のお屋敷町として知られている上杉に隣接しています。交通の便が良く、病院や商業施設などが徒歩圏内にあるなど、利便性の高い魅力あふれるエリアです。「ここは古くから住み続けている方たちが多い地域。住民同士は皆仲が良いけど、最近が高齢化率が進んでいるのが悩みです」と、北六地区連合町内会の高橋健一会長は話します。その一方で、地元の北六番丁小学校や五城中学校と、町内会や地域の各団体の交流は活発で、今年度は北六番丁小学校児童による地域貢献イベント「笑顔の北六。和・話・輪・フエスティバル」を開催。町内会をはじめとする各団体の活動内容を、子どもたちが学び地域をより知ることで、地域の絆を深める試みなども行われています。

## これから住むまち



# 南福室・上岡田 エリア (宮城野区)

防災集団移転促進事業宅地、復興公営住宅建設地(戸建)を含む

## 共に助けあい、住みやすいまちづくりに参加を

南福室・上岡田エリアは、七北田川下流の南側に位置し、県道二三号線(産業道路)と東部道路の高架橋東側に広がる田園地帯です。「南福室には蒲生地域からの入居が大半と聞いています。昔から親戚つきあいなども多く、同じ高砂地区内ということもあり、転居後の不安は無用ですよ」とは南福室町内会長の遠藤新也さん。一方、「上岡田は昔から農家が大半だったこともあり、共助の意識が高い地域です。早く溶け込むには、少しずついいので、町内会に入って一緒に活動するのが一番の近道です。一緒に上岡田地区を盛り立てましょう」とは上岡田町内会長の長田哲夫さん。両会長は口を揃えて「公助ばかりでなく、自助、そして共助です。相談にはいつでも乗りますよ」と笑顔で話していました。南福室・上岡田エリアの防災集団移転宅地の工事の進捗は十一月末現在で造成工事中、復興公営住宅(戸建)は設計中となっています。



②いきいきおたのしみ会



③岡田むつみ会



④鶴巻児童館



⑤よつば会



◀大正琴のアンサンブル演奏は大迫力です

## 地域の町内会 & 交流グループなど

- ①**上岡田明神太鼓愛好会** 上岡田子供会メンバー主体で、賀茂皇大神社の社務所で練習しています。秋祭りや盆踊り、運動会などで演奏します。メンバーは30名、最年少は幼稚園児です。毎週火曜日19:00～20:00 問/022-258-3520(菅野)
- ②**いきいきおたのしみ会** 地域包括ケア構築事業からスタートした、介護予防体操の自主サークルです。設立6年目、朗読や脳トレなども合わせて行います。第1・3火曜日10:00～11:30 鶴巻コミュニティ・センター 問/022-258-1063(吉田)
- ③**岡田むつみ会** カラオケ愛好会です。テーマ曲を皆で決めて一緒に歌います。年3回内輪での発表会があります。毎週金曜日13:00～15:00 問/022-259-0342(岡田コミュニティ・センター)
- ④**鶴巻児童館** リトミック(身体の動きを通して音楽を学ぶ方法)や子どもたちだけで仮想のまちを運営する「こどものまち」など、個性的な行事が目押しです。写真は「ハロウィンでまち探検」での一コマ。問/022-259-8920(鶴巻児童館)
- ⑤**よつば会** 大正琴の自主サークルです。年3回ある大会に向けて、パートに分かれて合奏し、ハーモニーを楽しんでいます。初心者歓迎です。第1・3水曜日19:00～21:00 上岡田公会堂 問/090-2024-6860(遠藤)

①上岡田明神太鼓愛好会



▲神社の境内に太鼓の音が響き渡ります

各復興公営住宅の立地や間取りなどの情報は「平成26年度復興公営住宅情報」(仙台市都市整備局復興公営住宅室発行)でご確認ください。冊子をご覧になりたい方は、下記にお問い合わせください。問い合わせ/仙台市都市整備局復興公営住宅室 022-261-1111(代)

# 読者からひとこと

読者の皆さんが普段何気なく思っていることをはじめ、皆さんからのお知らせなどをお届けするコーナーです。お茶飲みしながら、のんびり読んでくださいね。

●若林区井土の皆さん、あけましておめでとぅございませう。井土の老人クラブ「寿会」では、新年会を企画しています。ご案内が届きましたら、ぜひご参加ください。今年も皆さんと共に、元気に過ごしましょう。  
加藤新一さん

●宮城野区・中野小学校の学芸会を観賞しました。閉校を控えて、本来は高学年で経験する中野小太鼓ですが、低学年も含めた全校児童による「開宴太鼓」で幕開け。低学年が使用した太鼓は、地域企業が提供くださったタイヤ製。太鼓で学校と地域の方がひとつになれた感じがします。  
山本めぐみさん



●福島県からの避難者を対象とする太白区の茶話会に参加しています。福島県浪江町から仙台市へ避難や転居される方は、今でも毎月二〜三人ほど増え続けていると聞きます。やがて役所の手を離れても、皆で茶話会を続けていきたいですね。  
鈴木荘司さん

●十一月、青葉区・仙台市福祉プラザで開催した「支えあい復興文化祭」で実行委員長を務めました。来場者、実行委員、皆が楽しめることを考えて準備しました。来年以降も多くの方に参加いただけるように考えていきたいですね。  
松本茂さん

●泉区で生活しています。気仙沼市出身だから、この時期はサンマのつみれ汁をよくつくるんだね。うちでは、脂の乗った時期のサンマを下ろして叩き、味噌、卵、小麦粉、トコロを加えて練ったものを小分けにして凍らせておく。それで好きな時に使った。  
畠山サヨ子さん

●太白区あすと長町仮設住宅を出て若林区荒井東へ移転しました。仮設住宅ではフラダンスグループをつくらしたりして、仲がいい方がたくさんいました。仕方がないことだけれど、皆がバラバラになるのは本当に寂しいです。  
大友とえ子さん

●若林区荒浜小学校開校百四十周年記念事業で『記念誌荒浜』を作成しました。卒業生や荒浜にお住まいだった方にお送りし

## ご招待

### 仙台フィル定期演奏会にご招待します

仙台フィルハーモニー管弦楽団は復興支援活動の一環として、定期演奏会に「復興パートナーシート」を設け、被災された方々をご招待しています。

■対象：東日本大震災で半壊以上の被害を受けた方  
※未就学児童の入場はできません

■招待者数：1公演につき先着30名様  
※お一人様1回限り、1公演につき1世帯3名様まで

■日時 ①1月23日(金)  
②2月20日(金)・21日(土)  
③3月20日(金)・21日(土)  
※開演時間は、各公演とも19:00(金曜日)、15:00(土曜日)  
※1月24日(土)の公演の受付は終了しました

■場所：日立システムズホール仙台  
(仙台市青年文化センター) コンサートホール

■申込：往復ハガキでの申込みが必要です。  
詳しくは、仙台フィルハーモニー管弦楽団のホームページ  
(http://www.sendaiphil.jp/topics/復興パートナーシートのご案内-2/) をご覧いただくか、直接お問い合わせください。

■問：022-225-3934 (仙台フィルハーモニー管弦楽団)



ますので、ご希望の方は、直接お問い合わせいただくか、小学校HPをご覧ください。問/〇二二二八八(五〇二七)荒浜小学校  
実行委員会一同

## 情報ボランティア@仙台の交流サロン紹介

### 鳴瀬サロン



二〇一二年六月から毎月一回、青葉区中央市民センターで開かれています。震災後、東松島市の旧鳴瀬町から仙台近郊に避難・移転してきた方々の集いです。自然と交流の輪が広がり、参加者が自ら企画運営する自主サロンとなりました。

十一月の芋煮会には二十人が参加し、笑いの絶えない近況報告後、芋煮をこしらえ一緒に頬張りました。参加者お手製のおかずも並び、郷里を懐かしむ話などに花が咲きました。「サロンが始まった当初はやはり沈んだ話が多かったです。でも、回を重ねるにつれ、明るく前向きな話が増えてきました」。事務局の高橋幸子さんはこの二年半の好転を振り返ります。鳴瀬サロンはこれからは鳴瀬を愛する人たちの心のよりどころであり続けます。

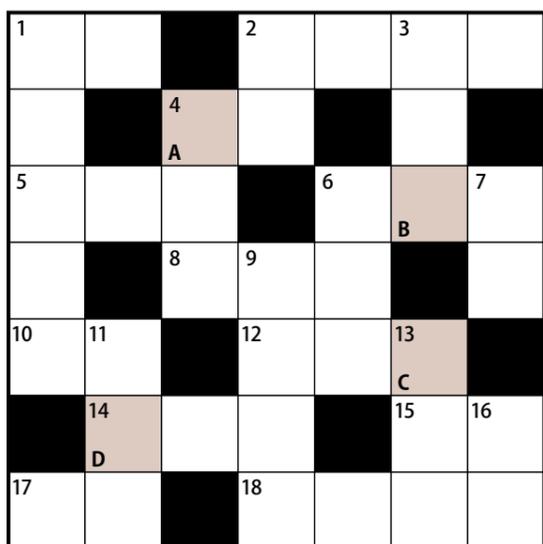
◆連絡先 〇八〇(五五六二)九二一八(事務局・高橋明さん)

取材：大島湧夫@東北福祉大学、友光真理恵@東北大学  
情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。 <https://kacco.kahoku.co.jp/author/volunteer16> (「河北新報オンラインコミュニティ」ブログ)

## クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ A B C D



### タテのカギ

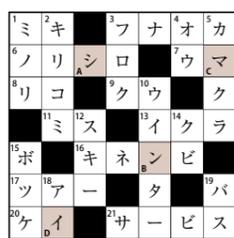
- ①元日に初詣をすることを、〇〇〇〇〇〇参りと呼ぶのはおなじみ
- ②仙台市にある十二支の守り本尊のうち、教養院大日堂は2015年のヒツジ及び翌年の〇〇の守り神
- ③〇〇〇〇道具といえば、その仕事に必要でいつも携帯するような小道具のこと
- ④書き初めなど習字の時に、最もオーソドックスに使われるサイズの紙
- ⑥いったん入ると出口や角が分かりづらくなるように仕組んだ道
- ⑦仙台初売りといえば、1月2日。2015年、この日は〇〇曜日
- ⑨夫が外でしっかり働けるよう妻が家を守るのは、〇〇〇〇の功
- ⑪多くの分野で多才に活躍するタイプの〇〇〇〇タレント
- ⑬1月14日に登米市で開催される「石越冬のまつり」は、どんと祭と〇〇〇〇大会の祭典
- ⑮2015年の〇〇であるヒツジにちなみ、石巻市にある零羊崎神社には参拝客が増えそう

### ヨコのカギ

- ①「雁」と書く鳥で、県内では伊豆沼などで越冬の姿が見られます
- ②朝の連続テレビ小説「マッサン」にちなみ、〇〇〇〇温泉近くにあるニッカウキスキー仙台工場の見学ツアーが人気に
- ④セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロといえば、〇〇の七草
- ⑤牛がビーフ、豚がポークなら、鶏は?
- ⑥〇〇〇〇がはげるとは、外面の飾りが取れて良くない中身が現れること
- ⑧「竹刀」と書く、剣道の道具
- ⑩毎年2月の初〇〇〇〇の日に開かれる、登米市の「米川の水かぶり」。2015年は2月11日の開催です
- ⑫「犬も歩けば…」といった札でおなじみ、お正月の遊びのひとつ、〇〇〇〇かるた
- ⑭「爪」と「瓜」、「己」と「巳」などのように、形が似かよった字
- ⑮芽を出してまだ幼い草木
- ⑰仙台市でお正月といえば、お雑煮とあんこ〇〇〇〇は外せないという人が多いのでは
- ⑱百人一首などで作者不明は、〇〇〇〇知らず

### 前回のこたえ

A シ B マ C イ  
D イ  
でした。



年の瀬のご馳走

# 「ナメタガレイの煮付け」

ふるさとにごつつおさん

我が家で受け継がれてきた郷土の味、紹介します。



## 材料・レシピ

### 材料(4人分)

○ナメタガレイ 4切	●ざらめ(砂糖) 大さじ5
●みりん 大さじ4	●酒 100cc
●めんつゆ 大さじ5	●しょうゆ 大さじ3
●うま味調味料 小さじ1	●水 400cc

### つくり方

1. ●の調味料をすべて鍋に入れ、火にかける
2. 煮立ったらカレイの茶色い皮面を下にして鍋に入れる
3. 強火のまま鍋蓋をして、煮付ける。時折蓋を開け、水分が減っているようなら水を入れて調整する(分量外)
4. 泡でカレイを包むように強火で15分ほど煮たら完成

お正月を迎えるにあたって欠かせない年取り魚として親しまれているナメタガレイ。「たくさん煮て大晦日の前にも食べちゃうの。だって煮立てを食べたいからね」とは、若林区荒浜にお住まいだった佐藤さちきさん、優子さん母娘です。佐藤さん宅では漁業を生業としている関係で、大晦日用のカレイは安く仕入れられる12月はじめに漁協の仲間と共同で大量に購入し、1日ばかりで煮付けていました。普段の煮付けでは上白糖を使うことが多いそうですが、大晦日用はざらめを使った特別なものだったと言います。煮付けたカレイは冷凍保存をして、大晦日まで何度も味わっていました。さちきさん、優子さん、それぞれの煮方がありますが、大晦日用を担当するのは、さちきさんの役目です。「どうしても同じ味が出せないのよ」と優子さん。さちきさんは「落とし蓋じゃなくて鍋蓋でいいの。泡がカレイを包むように強火で煮てね」と教えてくれました。